

自然共生型再エネと ゼロカーボンシティの取り組み

瀬戸内市錦海塩田跡地は、環境省から「日本の重要湿地500」に選定され、自然環境として価値があり、保全が求められる場所です。塩田跡のメガソーラー「瀬戸内 Kirei 太陽光発電所」は、自然共生型再エネとされています。視察報告からその実態を学びます。

瀬戸内市は「脱炭素先行地域」に選定されています。「瀬戸内市民電力（株）」を設立しました。ゼロカーボンシティへの取り組みについても報告します。

私たちは、①地域住民主体の再エネ、②地域課題の解決に貢献する再エネ、③自然共生型再エネを重視する理念としたいと考えています。コーヒーを飲みながら楽しく交流しましょう。

2026. 12.13 日 14:00~16:00

倉敷市市民活動センター

参加費：無料
定員：15人

報告者

多田英行さん

日本野鳥の会会員として
錦海塩田跡地でメガソーラー
一建設前から野鳥の調査を
行なっています
本職は地方公務員



上空から眺めた「瀬戸内Kirei太陽光発電所」(写真提供：瀬戸内Kirei太陽光発電所委員会)



一般社団法人おひさまネットワーク倉敷

090-9460-0301 (片岡)
dragons_road_to_victory@yahoo.vo.jp

お申し込みは
フォームから

